

平成28年度大学コンソーシアムやまがた第2回総会議事録

- 日 時 平成29年3月23日(木) 13:30~14:32
- 場 所 ゆうキャンパス・ステーション及びテレビ会議
- 出席者
- | | | | |
|---------------|---|-----------|-----------------|
| 羽陽学園短期大学 | : | 渡邊 洋一 | 学長 |
| 鶴岡工業高等専門学校 | : | 高橋 幸司 | 校長 |
| 東北芸術工科大学 | : | 根岸 吉太郎 | 副会長/学長 |
| | | →代理 野村 真司 | 常務理事・事務局長 |
| 東北公益文科大学 | : | 吉村 昇 | 副会長/学長 |
| | | →代理 神田 直弥 | 学部長 |
| 放送大学山形学習センター | : | 櫻井 敬久 | 所長 |
| 山形県立産業技術短期大学校 | : | 横山 正明 | 校長 |
| 山形県立農林大学校 | : | 石川 一夫 | 校長 |
| 山形県立保健医療大学 | : | 前田 邦彦 | 副会長/学長 |
| 山形県立米沢栄養大学/山形 | : | 鈴木 道子 | 監事/学長 |
| 県立米沢女子短期大学 | : | 井上 元治 | 幹事会副委員長/理事・事務局長 |
| 山形工科短期大学校 | : | 勝見 英一朗 | 校長 |
| 山形大学 | : | 小山 清人 | 会長/学長 |
| 〃 | : | 安田 弘法 | 幹事会委員長/理事・副学長 |
| 〃 | : | 栗山 恭直 | 企画会議委員長/教授 |
| 山形県 | : | 柴田 智樹 | 監事/総務部長 |
| | | →代理 遠藤 隆弘 | 総務部学事文書課長 |
- 欠席者
- | | | | |
|---------------|---|-------|-----------------|
| 東北芸術工科大学 | : | 遠藤 節子 | 幹事会副委員長/事務局次長 |
| 東北文教大学/東北文教大学 | : | 鬼武 一夫 | 副会長/学長 |
| 短期大学部 | | | |
| 東北文教大学/東北文教大学 | : | 大川 健嗣 | 幹事会副委員長/学部長・教授 |
| 短期大学部 | | | |
| 山形県立保健医療大学 | : | 川崎 正則 | 幹事会副委員長/理事・事務局長 |
- 報告事項説明者
- | | | | |
|------|---|------|--------------------------|
| 山形大学 | : | 横井 博 | 山形人材育成委員会・企画運営部会長
/教授 |
|------|---|------|--------------------------|
- 陪席者
- | | | | |
|------|---|-------|--------------|
| 山形大学 | : | 成田 博昭 | 教育・学生支援部長 |
| 山形大学 | : | 武田 仁志 | 教育・学生支援部学務課長 |

I 開会

事務局から、総会成立の報告及び報告事項1の説明者として山形大学 横井 博教授が出席している等の紹介があった。

II 議事

会長から、本会議の議事録署名人として、山形県立農林大学校 石川委員と山形県立保健医療大学 前田委員に依頼があった。

[報告事項]

- 1 大学間連携共同教育推進事業（美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座の展開」）
山形人材育成委員会の平成28年度活動報告について

山形大学 横井教授から、資料1の大学間連携共同教育推進事業（美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座」の展開）平成24年度～平成28年度最終報告書、平成28年度報告書（冊子）に基づき、本プロジェクトの5年間の成果について、「社会人力の育成」、「社会人力育成教育プログラムの確立」、「地域志向型人材の育成」を掲げてスタートした旨の概要説明があり、続いて以下の具体的な説明があった。

はじめに、「社会人力育成教育プログラムの確立」について、受講者が1年度平均で448名と目標値をクリアできたこと、単位互換の受講者数が1年度平均で63名と今までの平均20名と比較して3倍になっていること、この理由として本コンソーシアムが行っている履修学生の交通費支援制度の影響が大きいと思われること、科目への評価については学生の授業評価から見て見劣りしないこと、及び他大学が新しい科目を作成するときに役立つように「強化書」として4つの教育プログラムを展開できるようにまとめたとの説明があった。

二番目の「地域志向型人材育成」については、受講者の就労意向がどのように変化したか調査したこと、受講者の進路はどうであったか、どう役立つかを調査した結果、サンプル数は少ないが受講者の就職活動に役立つと評価している割合が高かったとの説明があった。

三番目の「社会人力育成」については、一番の課題は評価をどのようにするかということであったが、結果的に成果として示すことができたのは、一つは授業課題のルーブリック、二つ目が科目のルーブリック、三番目として全体的な山形講座のルーブリックと三層構造のルーブリックで社会人力を捉えられたことで、ルーブリックの開発・活用の基礎的な整理がなされたことの説明があった。また、客観的な評価方法については、社会人力の特徴は何なのか、評価結果からみてどのように言えるのか、質的基準で評価ができないかなど、論点整理をしたが、もう少し学生の視点に立った評価について検討を深める必要があるのではないかという説明があった。

最後に「事業の継続（報告書97頁）」について、個別の大学で対応できるものはそのままお願いし、コンソーシアムではそれを補強・補完する授業を作るという方針でまとめたので、この後の協議事項（平成29年度事業計画として）に提案させていただいた旨の説明があった。

このことに対し、以下の質疑応答があった。

(質疑応答内容)

- ・ (本事業の) 今後に関しては、各大学と本コンソーシアムで事業のある部分を継続していくという理解でよろしいか。また、実施及び経費はどうか。(会長)
- そういう理解で提案させていただいている。(実施については) 連携校からも具体的な科目が出ており、コンソーシアムも具体的に担当する先生を固めて提案している。また、経費については協議事項で説明があると思われる。(横井教授)

本報告に対し、会長から横井教授へ謝意が述べられた。

[協議事項]

1 平成28年度事業報告(案)及び収支補正予算並びに収支決算見込額(案)について

事務局から資料2に基づき、平成28年度事業報告(案)について説明があり、続いて資料3に基づき、平成28年度収支補正予算並びに収支決算見込額(案)について説明があった。

このことに対し、以下の質疑応答があった。

(質疑応答内容)

- ・ 資料3の(一番下)参考で、支出見込額8,569,554円とあるが、表の支出欄の決算見込額8,596,554円と違っている。どちらが正しいのか。(石川委員)
- 表の支出欄8,596,554円が正しい数字なので、参考の支出見込額を訂正したい。(事務局)

会長から、本決算は平成29年度の総会で決定する旨の説明があった後、平成28年度事業報告(案)及び収支補正予算並びに収支決算見込額(案)は了承された。

2 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

事務局から、資料4、資料4別紙に基づき平成29年度事業計画書(案)について、特に28年度事業と比較して、企画会議事業における「ビブリオバトル」については、2年続けて山形大学生のみの参加であったことから29年度は共催事業から外したこと、新規事業として大学間連携共同教育推進事業の継続事業として「山形講座フォローアップ事業」を実施すること、28年度実施の「やまがた高等教育職業フォーラム」は平成29年度実施しないこと及び「事業評価」を行うこと等の説明があった。

続いて事務局から、資料5の機関負担金(案)、資料6のゆうキャンパス・ステーション運営費負担金(案)、及び資料7の収支予算書(案)に基づき平成29年度収支予算(案)について説明があった。

このことに対し、以下の質疑応答があった。

(質疑応答内容)

- ・ やまがた夜話の内訳で、消耗品費等に広報費は入っているのか、別なのか。(櫻井委員)
- ネットを利用する案内には広報費はかかっていない。主に講師配布資料の印刷、用紙代となっている。また、(各開催前に)案内を希望している個人約100名にダイレクトメールを送っているが、その郵送料などが含まれる。(事務局)

以上の結果、平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)は了承された。

[その他]

1 ゆうキャンパス・ステーションについて(経過報告)

事務局から、資料8に基づき「生涯学習センター(遊学館)」について、6月28日の本総会において、県の提案に沿って移転の意思表示をしておき、本コンソーシアムは設計の段階から参加したい旨を伝えていたことについて、昨年8月以降の経過について以下の報告があった。

- ・ 8月末に連絡があり、平成28年9月末に設計者と契約締結、平成29年1月末に基本設計完了、同年9月末に実施設計完了、29年度中に施設改修工事着手(開館しながらの工事を想定)、平成31年度中にリニューアルオープンと、改修スケジュール概要が示された。
 - ・ 今年1月31日に設計業者を交えた基本設計の話し合いをしたいとの連絡があり参加した。その際に県から提案場所の説明があり、第一案は2階第4研修室(約35㎡)を事務室に、第5研修室(約85㎡)を研修室にとの案。第二案は3階特別会議室を改修して約30㎡の事務室と114㎡の研修室を設ける案であった。
 - ・ 2月23日に事務局から生涯学習センターへ現状の視察に行き、導線としては、第一案の2階が非常に入りやすく、明るく使い勝手もよい印象を受けたが、第二案の3階は少し奥に配置されていることもあり、来訪者は少し入りづらいとの印象を受けた。
 - ・ 貸借料は、あくまで未定であるが、第一案の2階二部屋を使用した場合の県試算では年額81万円、第二案の3階を使用した場合の試算では年額110万円程度とのこと。これに別途光熱水料が必要になる。(現在のゆうキャンパス・ステーション借料は216万円/年)
- なお、県教育庁からは、2階を使用してもらいたいとの要望があった。

このことについて、会長から、3年先の事ではあるが経過報告をしながら、遊学館へ移るということで進めたい旨の説明があった。

このことに対し、以下の質疑応答があった。

(質疑応答内容)

- ・ 現在のここの場所の面積はどのくらいの広さか。(石川委員)
- ショウウインドウまで含めて約170㎡ぐらいです。(事務局)
- ・ 駅から離れるので若干不便にはなるし、駐車料金もかかる。(会長)
- (遊学館へ移転した場合は)駐車場は2時間まで無料となるので、やまがた夜話などでは無料で駐車ができる。(事務局)

最後に、本年度末で退任となる委員4名の紹介があり、出席の委員から退任の挨拶があった。

(退任される委員)

- ・山形県立産業技術短期大学校 横山 正明 委員
- ・山形県立保健医療大学 川崎 正則 委員 (欠席)
- ・山形県立米沢栄養大学／山形県立米沢女子短期大学
井上 元治 委員
- ・山形工科短期大学校 勝見 英一朗 委員

以上

【配布資料】

資料 No. なし

- ・総会委員名簿
- ・大学コンソーシアムやまがた会則
- ・平成28年度大学コンソーシアムやまがた総会 (第1回) 議事録

資料1 大学間連携共同教育推進事業 (美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座の展開」)

平成24年度～平成28年度最終報告書

平成28年度報告書

資料2 平成28年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書 (案)

資料3 平成28年度大学コンソーシアムやまがた収支補正予算並びに収支決算見込額 (H29. 2. 28現在) (案)

(参考1) 平成28年度大学コンソーシアムやまがた機関負担金収支決算書 (案)

(参考2) 平成28年度大学コンソーシアムやまがたゆうキャンパス・ステーション運営費収支決算書 (案)

(参考3) 平成28年度山形人材育成委員会収支決算書 (案)

資料4 平成29年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書 (案)

(別紙) 山形講座に関する平成29年度以降の継続事業等について (案)

資料5 平成29年度機関負担金 (会費) (案)

資料6 平成29年度ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金 (案)

資料7 平成29年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書 (案)

(参考1) 平成29年度大学コンソーシアムやまがた機関負担金収支予算書 (案)

(参考2) 平成29年度大学コンソーシアムやまがたゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書 (案)

資料8 山形県生涯学習センター (遊学館) 平面図

議事録署名人

山形大学長

山形 一夫 

山形県立農林大学校長

石川 一夫 

山形県立保健医療大学長

前田 邦考 